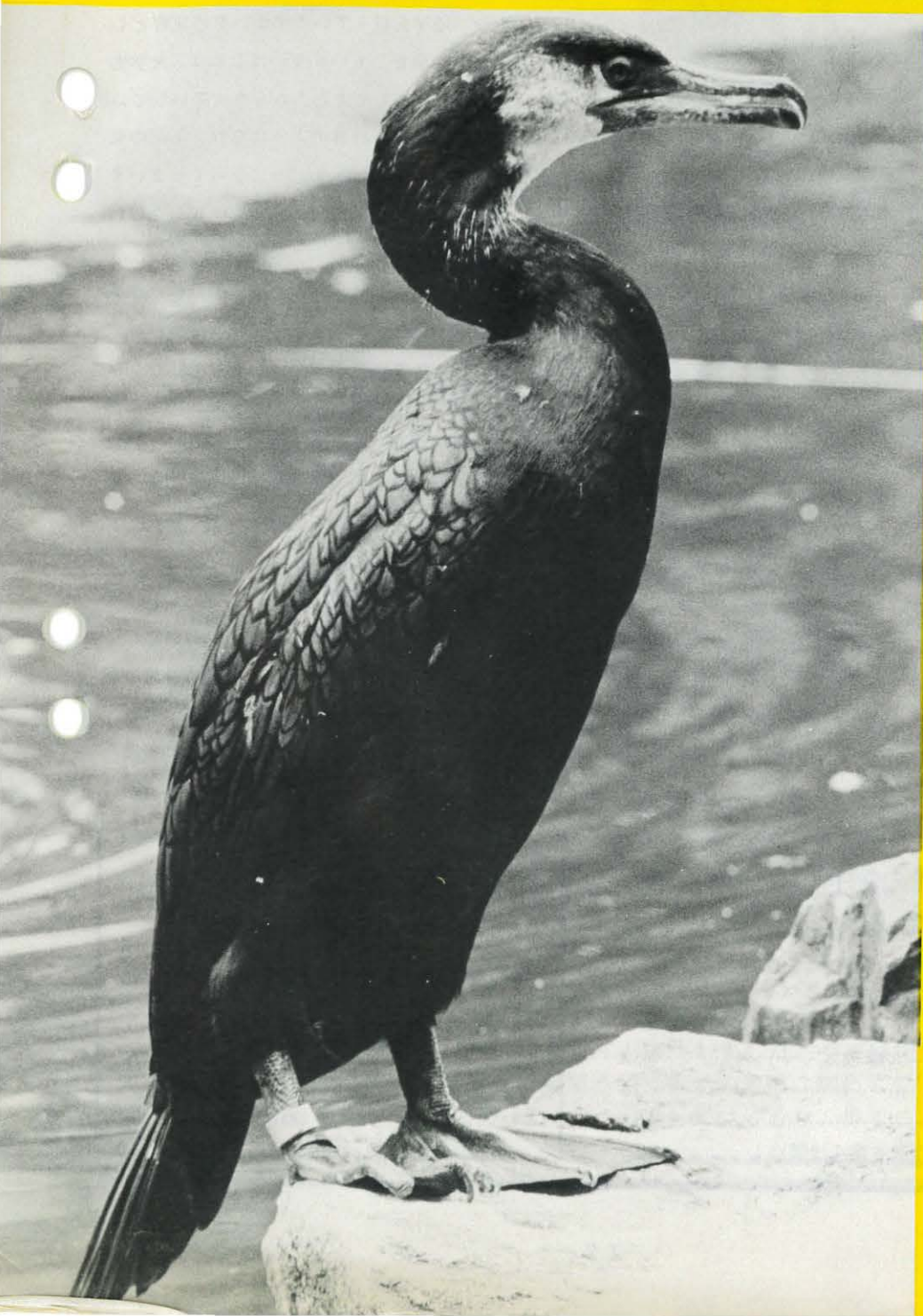


なきごえ



1980

9

大 阪 市
天王寺動物園協会

動物と私

動物園見学の楽しさ

堀田 進



私はどこかに出張したとき、その帰りにどこかの動物園に足が向きます。昨年、1年間ドイツ生活をしましたが、ドイツ国内の動物園や、パリ、ロンドン、ベルンなどの動物園に休日を利用して出かけました。オリで境さされていても、動物を見ることは楽しいものです。

動物は、飼育をしてはじめて本当の姿を知ることができる、とよく聞きますが、素人が動物を飼うことはむずかしいものです。私は以前、タニシ、ハマグリ、アサリなどの貝やシマリスを飼ったことがあります。水槽をふたつ用意して、ひとつは真水、ひとつは海水として飼ってみました。タニシの方はどんどん子供ができて、私の先生や熱帯魚を飼っている友人などに分けてやったりしましたが、海の貝は飼うのが大変でした。毎週、千葉や神奈川の海辺に

なきごえ9月号もくじ

動物と私	2
パカの誕生	3
動物園グラフ・動物園日記	4-5
動物と共に30年	6-7
第6回サマースクール感想文	8-9
北米通信員だより	10
動物園ニュース	11

海水をとりに出かけたり、人工海水を混ぜたりしていました。そうこうするうちに、そのなかの一個体でも死んでしまうと、部屋中がくさくなって、結局、飼育は中止したままになっています。シマリスはしばらく飼っていましたが、小鳥を飼ったりしていた母親（世話ずきですから飼育のベテラン？）のところにあげました。

私は大学で地学を教えています、その実習として、動物園見学会をしています。はじめは、大学生に動物園見学の話をしますと、みんな大笑いしていましたが、今では年中行事のようになり、1回の見学会に500人とか1,000人とかになってしまいましたので、それだけインストラクターも養成しなければならぬのです。

動物園の動物のおおくは、今でこそ限られた地域に生息している種類ですが、過去の地質時代には、大いに栄えたものなのです。このような動物をレリック（生きている化石）といいます。動物園で動物の形態や生態を観察して、このようなレリック動物を学びながら、生物進化の勉強をするわけです。私自身、動物園にいくたびに、私にとって何か新しい発見をしますので、楽しいものです。

そして、動物の飼育のむずかしさを知っていても、プレイリードッグやレッサーパンダなどかわいらしい動物を見ると、自分でも飼ってみたいなあと思ったりしますので不思議なものです。

(東京経済大学助教授)

表紙の写真説明

“カワウ”

留鳥として日本各地の海灣湖沼河川の近くに生息し、南アメリカ以外の全世界に分布します。子育ては親の胃で消化した魚を口移しで与えます。

(撮影：中川哲男)



“パカの赤ちゃん誕生”

7月25日、パカの赤ちゃんが誕生しました。パカは中南米に生息する大型の齧歯類で、日本での繁殖は初めてです。赤ちゃんは生まれた時にすでに眼もあいており、歩くこともできます。

(撮影：農本武志)

動物園グラフ 「サマースクール特集」

今年も7月22日から8月31日まで、小学校4、5、6年を対象に、第6回サマースクールが行なわれました。今回はそのサマースクールでの子供たちの元気な勉強風景を御覧下さい。
(撮影：榊原安昭)



「よく観察して勉強するんだよ。」



「類人猿は……。」と飼育係のおじさんの説明を聞く。



「ボールパイソンはこうして抱くんだよ。」



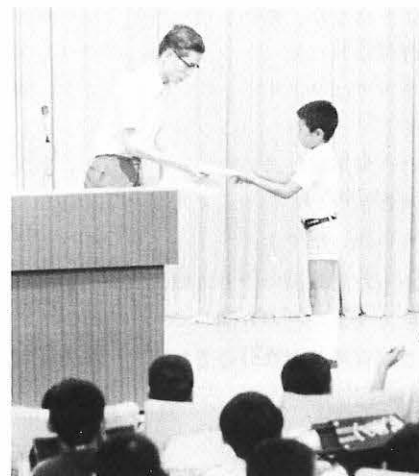
「ダチョウの卵はでっかいなあ。」



「クロオオカミは……。」と大きな声で研究発表しました。



「わあ!!でっかい恐竜だなあ。」



3日間の勉強も終り、修了証をもらいました。



「人間の頭骨と猿の頭骨はここが違うんだよ。」と博物館の柴田先生。

7・8月の動物園日記

- 7 / 21. ボンネットザルの雄が左腕を負傷したので投薬しました。
- 22. 第6回サマースクールが、本日から7月31日まで開講されました。
- 23. ホッキョクグマに氷柱3本をプレゼントしました。人工哺乳中のニホンジカが食欲不振のため投薬しました。
- 25. 日本で初めてパカの赤ちゃんが1頭生まれ

- ました。シマウマの雌が下顎を化膿させているので治療しました。
- 29. ダマシカが顔面を化膿させているので投薬しました。カニクイザルの保護預りがありました。
- 30. アカハシリウキュウガモが1羽人工ふ化しました。
- 31. オグロワラビーを夜間も放飼することになりました。第6回サマースクールが終了しました。

- 8 / 1. ニホンザルの赤ちゃんが1頭生まれました。ダマシカの化膿はほぼ治まりました。
- 2. 人工哺育中のニホンジカが、腸閉塞のため死亡しました。コクチョウが痛風症のため死亡しました。
- 3. ボランティアによるサマースクールの反省会が行なわれました。
- 5. オオヅルとカムリヅルが産卵したのでふ卵機に入れました。
- 8 / 7. カムリヅルが2卵目を産卵したのでふ卵機に入れました。

- 9. カムリヅルが3卵目を産卵しましたが、自然抱卵させることにしました。
- 14. レアが1羽ふ化しました。
- 15. 7月20日生まれのレアのヒナが死亡しました。人工哺育中のニホンザルが下痢をしたので投薬しました。
- 17. シシオザルの雄が隣室のケナガクモザルに咬まれたので縫合手術をしました。
- 20. イエローラットスネークが17個、卵を産みました。

動物と共に31年

私は昭和24年に天王寺動物園飼育係として採用され、以来30余年に渡り飼育一筋に数々の動物達と半生をすごしてまいりましたが、このたび無事大役を終え動物園と動物達とも別れることになりました。

その間楽しかったことやつらく悲しかったこと、さまざまな出来事がありますがそれらを少しだけでもみたいと思います。

始めに、私が動物を好きになった動機はやはり父の影響が少なくなかったと思います。子供の頃から私達の周辺には小鳥や鴨、日本猿それに多くの犬達が飼育され、犬は多い時には10~20頭もいました。その犬達は主に訓練をされていて、私が小学校の3~4年生の頃にはこれらの動物達の世話の手伝いや訓練の実習をさせられました。しかしその頃は正直いってあまり面白くありませんでしたが、その後の動物園の仕事をするにあたって大変プラスになった事と思います。動物に対する愛情と努力、それに忍耐を持つことが自然と身に付いた様に思います。私が昭和24年採用された当時の動物園は、収容動物の種類や点数も非常に少く、最初に担当したキジ類は南園、北園合わせても5~6種と雑種のシャモやチャボが数羽しかいませんでした。当時、旧キリン舎には和牛が2頭、旧サルアパートにはタイワン猿、日本猿などが約10頭前後しか収容されていませんでした。それにアシカ池や猿島には動物はいませんでした。小鳥類も担当しましたが当時の小鳥舎は旧チンパンジー舎で、冬には石炭ストーブで暖房されていて特に夜間の宿直者は3~4個所の火を消さない様に見廻るのでとても大変でした。又飼料の種類もとても今日のように色々ありません。

インコ類にはオノ実、フィンチ類にはアワ、ヒエ、その他1~2種を混ぜた程度でした。私はその中でもコバタンに芸を教える事を行いました。おまわり、パンザイ、小さな物を運んだり、はしごのぼり等です。イン



コバタンと筆者

コの好物のオノ実の皮を剥ぎ餌と混合させた物を細い棒の先に塗り空腹の時教えました。

その他今までに担当した動物達は豚、山羊、鹿、馬、シマウマ、水牛、ラクダ、オリックス、小獣類、猛禽、オットセイ、アシカ、ハ虫類、走鳥類そして最後に類人猿等ほとんどの動物を一度はたずさわってきました。昔の飼育係の新米はまず豚の飼育から始まることになっていて、それらは猛獣舎に収容されていました。毛色は3色の大型で80~120kgのものが15~20頭も収容されていました。餌の量も多くて給餌の時は大変でした。うかうかすると押し倒されそうになりました。その他の動物の給餌も車輪も木製の木の手押し車に積めるだけ積んでこぶという様なありさまで、とくに雨天の日などは大変で園内は泥道だらけ、今思えばそのようです。それでも昭和25~26年頃になると外国から動物達が続々入園するようになり、動物を積んだトラックが着くと若い飼育係は我れ先にトラックにとびのり、ケージの動物をみてはファイトを燃したものです。飼育係の仕事をして一番嬉しいことはなんといっても子供が生まれ、無事親子共に育つことでした。又反面病気で色々治療しても治らず死亡する動物を見ることはつらい思い出です。

嬉しかった思い出の中では戦後初めて昭和24年1頭の灰色カンガルーが入園して来ました。その当時は適当な飼育場所がないので倉庫の片隅を仕切って



一時収容しました。担当となった私はカンガルーをみるのは始めてで、もちろん触ったこともありませんでしたが担当することになり、大変嬉しかったことは今でも思い出します。さて翌日から毎日室内に入り掃除の後、シキワラの上に腰を下して観察を続け、餌を与える時は近くまで行けるようになってきて、約半月~20日頃から大分馴れて体も少しは触れる様

になってきました。その後1~2ヶ月の或る日のこと、いつもの様に体を触って胸部から腹部にかけて触っていると私の指先が小さな穴に触れたのです。それは袋でした。そっと広げて中を見るとなんとカンガルーの仔がいたのです。この日までこのカンガルーはメスとはしなかったのです。仔の色はピンク色で大きさは約5~6cm前後で眼もまだ開いていませんでした。私はその時びつくりと嬉しきでなんとも言えぬ気持ちでした。早速事務所に報告に走りしました。このカンガルーの子供を4~5日に1回袋を開いて観察を続け、数ヶ月後に親の袋から可愛い



顔がみられ、そして無事袋から出入りする様になり、りっぱに成長した事は楽しい思い出です。

又昭和26年からチンパンジーの代勤を務める様になりました。そして昭和32年に本番の担当になりその後は私独自の演技を色々教えました。そのチンパンジーの事を少し記してみたいと思います。

私が担当したチンパンジーの名前はまず最初はメスのシュジー、次にはオスの二郎、これはとても神経質で先輩にも馴れず私にだけはなんとか体温を計らせるまでにはなりましたが演技調教はできませんでした。その後メスのチェリー、オスのマックが同時に入園、ついでユリ、キク、リカ、キャンデイ、パンジー、最後にマギー、このチンパンジーは基本を仕付けて約3ヶ月程で阪神パークに行きました。私がチンパンジーを飼育していた中で忘れられない事が2、3あります。或日チンパンジー舎の清掃と調教が終りチンパンジー舎前で共同作業中、お客さんが知らせて下さいました。それは思いがけない出来事でした。チンパンジーのユリが天井から下げていた鎖とユリの鎖が首に何回も巻き付き、口を開け紫色になっていました。早速首輪を切り下に下ろしたのですが全く動かず仮死状態でした。それを係の皆様のお影で無事に助けることが出来て本当に嬉しか

ったことは今でも忘れられません。又別れの悲しさもあります。昭和33年春待っていたゴリラの可愛い子供が2頭入園しました。以後苦勞して育ててやっと一人前のゴリラに成長してきた頃、心ないお客さんのためメスのリラが病気になる、何日も残業又は徹夜の看護と治療を続けましたが、遂に死亡してしまいました。以後当分、お客さんの顔をみると鬼の顔に見えました。お客さんも自分の家庭で飼っている動物の様に大切にしておしかったです。其の後2年程過ぎて残ったオスのゴリ、当時で約11才の頃でした。推定体重120kg程になって立派なゴリラと成長していました。そのゴリとの別れの時がきました。私の言うことをよくきき性質のよいゴリラでした。これを他の動物園にトレードすることになったのです。何日かかけて輸送用のケージに馴れさせるために私が先にケージの中に入り安心させるためのこの作業中、心の中で私を信頼するゴリを裏切られねばならない、二度とこの様な事はしないと聞き聞かせながらの毎日でした。そしてとうとうその日がやってきました。餌を持って先に輸送ケージにはいり腰を下ろすと、ゴリが後から入って来ました。ゴリが食事している間に私はそっとケージから外にでました。私の合図と同時にそのケージのトビラが下されました。その時ゴリは今まで聞いたこともない大きな声で怒りさげ、私は耳を押さえてその場を走り去りました。そしてトラックに乗せられていくゴリを私



はどうとう見送ることはできませんでした。これも園の方針だからしかたがないし、飼育係の宿命と思って心の中でゴリに別れをつけました。その外沢山の思い出がありますが、動物園の動物の幸福を祈って筆をおきたいと思います。

(飼育課主任 辰野 勇)

*辰野主任は昭和24年に天王寺動物園に奉職以来、31年もの長きにわたって飼育一筋に歩んでこられました。この9月末をもって定年退職されます。

第6回サマースクール感想文

今年のサマースクールは、7月22日から7月31日まで実施されました。例年になく、雨にたたられましたが、約210名の子供たちが元気に勉強しました。子供たちから多くの感想文が届いていますので、その一部を紹介したいと思います。

高松小学校 4年 樽本祥子

わたしは、サマースクールにさんかできてよかったと思います。なぜかとゆうと、ずいぶん物知りになったし、自由研究の目あてにさいこうです。それにボランティアーズの先生が物知りだったので、いろいろとおしえてくださいました。

ヘビにさわるときこわかったけど、今はもう1回さわりたいと思っています。アルダブラゾウガメにすわれなかったのはざんねんでした。

はじめむつづがめをみたとき、とてもふしぎでした。ほんとうのことをきいたときは、どうしてこちらにつめがはえたのかなと思いました。

今は、およがないので、こちらがたいかして足につめがはえて足のようになったのだと思っています。このことがわかったとき、いままでなにげなく見ていたどうぶつも、よく見てかんさつすれば、知らなかったこともいろいろわかると思いたいへんうれいしです。

しぜんしはくぶつかんで、にんげんのほねをみたときは、にんげんのほねのしゅるいは、たくさんあるんだなあと思いました。それからインドゾウのほねをかきましたが、じかんがなくなってろっこつのおぶんだけしか、かけませんでした。このことはすぐざんねんでした。それから下においてワニの上あごの化石をかきました。それはうまいことかけたので、うれしかったです。3日間のみじかい間だったけど、ともだちもできて物知りになれたし、とてもうれしい3日間でした。らいねんもサマースクールにさんかして、もっといろいろなどうぶつのことを知りたいと思っています。

瓜破西小学校 5年 今井麻記

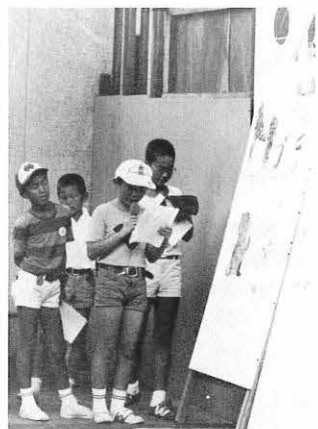
第1日目の動物園でやったことは、最初に類人猿を見ました。ゴリラは、ナックルウォーキングやドラミングをします。メスのゴリラの名前はラリリといって、オスのゴリラの名前はゴローといひます。オスのゴリラの頭がでていのはヘルメットといひ、メスは頭がでていません。類人猿は、ゴリラ、オランウータン、チンパンジーなどです。

それから、ボランティアのおねえさんが、ゴリラのゴロの手形と足形を紙にうつしてあるものをくれました。わたしたちの手とくらべると、とても大きい手と足です。サルは、リンゴ、バナナ、はくさい、キャベツ、牛にゆう、豆にゆう、ヨーグルトなどです。動物園ではえさは、1日2回やります。自然界のえさは、木の葉、木の実などです。類人猿じゃないサルは、アカオザル、マントヒヒやブタオザルなどです。まだほかにもいますが、おもにゴリラの観察をしました。

それから、人工哺育の日本ザルを見せてもらいました。まだ小さくて、とてもかわいい日本ザルでした。指をかごの中に入れて、なめたり手でにぎったりしました。こんなサルだったらほしいなあと思いました。わたしは、「かわいいわあ。」といひました。

2日目も観察をしました。研究発表があるので、おべんとうを食べてから、研究発表の用意しました。わたしたちのはんは、おもにサルのことを発表しました。わたしのはんは、1ばんなので1ばん最初に発表しました。いっしょのはんの森くんという男子が最初に発表しました。わたしはそのつぎでした。むねがドキドキしてきました。小さな声で発表するのに、マイクでいうととても大きな声になりました。発表するときはずかしくなりました。

3日目は長居公園でした。長居公園では、サルの頭こつと人間の頭こつをくらべました。ほかのはんは、ほかの動物の頭こつを見ました。ほかにも、はく物館の中をいろいろ見ました。わたしは、いろんなことをしつもんしました。でも長居ではあまりしつ



もんしませんでした。長居は12時までだったけど、とても楽しかったです。ボランティアのおねえさんもやさしかったし、もっと日があつたらいいのになあと思いました。来年もぜひいいきたいです。

瓜破小学校 6年 坂倉一弘

7月30日朝、8時ごろ家を出発。2日目なので、つきそいのお母さんはいない。

「あのようなことにならなければいいけど。」と、出発にぼくは思いました。思ったとおり道に迷い、ぼくの所属していた6ばんは出発寸前でした。

この日のコースは、カモシカ園→ラマーラクダ→えさの午前中と、バーバリシープなどの午後とに分かれていた。

最も、おどろいたのは、カモシカ園に牛類が多いことと、カモシカ園に限らず全体に外国産の動物が多いことであり、またそれにもかかわらず動物たちが乱暴なことをしたりしないことだった。しかし、説明の人たちは、ラクダでも、「近よると危険だ。けが人も出ている。」と言った。

カモシカ園に日本産のしかはいないかと、探してみたら、奈良公園のものに似ているしかを見た。しかし予想外に、ボランティアの先生は、だまって、説明のじゅう医さんは「あれが台湾産のはなしかだよ」と教えてくれた。よく見ると、皮の色や角の形が、ちがうように見えてきた。しかし、他の動物が、遠い園のものなのか、同じアジアのしか類だからか、日本のしかのような気が、していた。

さて、このカモシカ園には、同居のくじゃくと居そうろうのハトがいた。他の所で見ると、えさをもろう動物よりもハトの食べる量の方が多かった。

この動物園と中国・モンゴルにしかいないというモウコレイヨウが、他の動物と、さくでしきられ、遊んでいた。しかし、モウコレイヨウの足の走さは世界一のチーターの次で世界第二番だという説明があつたが走らない、それとも走れないのかもしれない。大草原で育つたモウコレイヨウにとってこの動物園はせまいだろう。

しかたちに限らず、ほとんどの動物にとって、動物園はきびしい所だろう。ブタとキリンの首の骨が、同じ数なのに、首の長さがちがうように、それぞれの動物には、すばらしい持ちちょうがあるのが、わかった。

北田辺小学校 6年 松田美保

朝から胸がドキドキしている。今日は天王寺動物園サマースクールの第一日目なのだ。天王寺動物園はまだ行ったことがないし、いつも兄か友達といっしょだけれども、今回は私1人の参加なので落ち着

かず、天王寺図書館の横を通る時には脇腹が痛くなるほどだった。動物園の前の広場には、たくさん鳩がいたので東京の上野動物園と同じ風景だなあと思いました。そしてサマースクールのバッヂを胸につけて班ごとに並んだら同じ班に女の子がいたので友達になると、だいぶ落ち着いた。

3人のボランティアの先生といっしょに全部の動物を見て行き、つるのひなは茶色で白い羽がだんだん生えてくることや、キーウイは夜行性で日本の中では、この動物園にしかいないことなどたくさん教わつた。中には知っていることもあつたけれど、黒ひょうにもはんでんがあることなど、おどろくようなこともありました。

私の班は、カンガルー、うさぎのなかま、ねずみのなかまを観察しました。そこで、カンガルーには雑草、木の葉、キャベツ、ニンジン、リンゴ、バナナ、パンなどをやっていることや、赤ちゃんは袋で10~11ヶ月すごすことなど全く知らなかったことがくわしくわかって良い勉強になりました。うさぎのだき方も、飼育係のお兄さんがみんなにだかせてくださつて、くわしく教えてもらったので、家に帰って母や友達にさつそく教えてあげました。

2日目は、研究発表でした。私は2班と3班の発表を楽しみにしていました。それは、ライオンとオオカミが大好きだからです。ライオンは強そうで落ち着いている所が好きで、オオカミは孤独そうできびしそうな所がいいのです。私がおどろいたのは、5班が観察した、ぞうの鼻に5lも水が入るといひことです。今までは、多くて2l位だろうと思つたので、本当にびっくりしました。



3日目は長居公園の自然史博物館へ行って動物の骨を勉強しました。

私は、肉食動物と草食動物の歯と、あごの動き方のちがいがはっきりわかりました。

この3日間、大好きな動物のことをくわしく教えていただき、ますます好きになれました。楽しい3日間でした。

今年
まで
した
子供
の音

わが
たと
なつ
にボ
ろい

へ
にさ
ると
こわ
った
ど、
はも
1回
わり
いと
って
のは
は
た。

らに
今
つめ
この
いた
かっ
いで
し
とき
るん
ねを
ぶぶ
ごく
あご
ので
たけ
もう
ルに
を知

北米通信員だより

7月14日に大阪を発ってから、ここジョージア州の片隅に来るまでにサンフランシスコ動物園、シーワールド、サンディエゴ動物園を歴訪したので見聞きたことを教育事業を中心に報告します。

まず15日に予告通り、サンフランシスコ動物園を訪問しました。郊外の住宅地の一角にある、広くて美しくカモメの飛来するZOOでした。教育事業に力を入れていると聞いていたし、大阪市と姉妹都市の関係にある市立だから取材に協力して下さるだろうと予想していたのですが、はたして歓迎をうけ、教育担当責任者のPound女史のみならず、Mottrum 獣医、さらにKitchener園長ともお会いでき、さまざまな情報を得ることができました。同園は市の管轄下にあるわけですが、教育事業の多くは外郭団体の動物学協会によってまかなわれていると聞きました。その事業内容は、園内の一隅に有料子供動物園をもち、常時開園している他、巡回動物園、動物学教室、サマーキャンプそれに小中学校の理科教材の制作と配布などです。子供動物園はアルバイトをしているカリフォルニア大学で生物を専攻しているジョージ君に案内してもらいました。州内の動物を中心にオポッサム、フクロウ、仔ワニ、イグアナなどを高校生ぐらいのボランティア（特に団体としてまとまっている訳ではないようです）が、あちこちで見せたりさわらせてたりしていました。ここは協会の職員が3人でまわっているということでしたが、あいにく当番の人はその時、外出中でした。巡回動物園というのはさまざまな動物を園から1時間以内で行ける教育施設に運び出して正規の授業に供するというもので、力を入れているとPound女史は語っておられました。動物学教室というのは小学生から大学生までを対象に、園や協会の職員が講師になって適宜開講するのだそうです。そしてサマーキャンプ—これはたいへんユニークなもので7歳から12歳までの子供を2週間（各組25人、計5回）にわたって動物園に通わせ、勉強したり、動物に親しんだり、遊んだりさせ、最後の晩にキャンプファイアーを囲んだ野外での食事と夜の動物園ツアーを組んだものです。園内、動物病院をまわって肌寒くなってきた園を後にしました。

次に訪れたのがシーワールドでした。サンディエゴ空港からそう遠くないところにあり、午後3時すぎからの数時間の訪問でしたが得るところは大きかったと思います。ここではまず教育及び掲示部門（職員は12人）責任者の Mosca 女史を訪ねました。たいへんていねいな御手紙をいただいていたからです。事務室に案内されて、しばらくお話を伺いました。

まずここでの教育事業のあらましをお教え下さいとの私の質問に、机の引出しから大版のポスターを取り出し、裏一面に印刷されたプログラムを示して、ていねいに説明して下さいました。主なものはやはり学校教育の一環として行なわれているもので、幼稚園児から大学生、教員、それから知恵遅れの子供達のためにも全部で10種類の半日プログラムがあって、週がわりのテーマで学校の開いている期間の、全ウィークデーに開講されているとのことでした。各大学でもこれを高く評価して単位を出すようになったとのこと。「ただの科学教室ではありません—新しい感動の世界へ皆さんをいざないます」パンフレットにこうありますように、「イルカやアシカの訓練法の秘訣」、「イルカの言葉」から「海の生態学」、「深海へのアプローチ」というのまでさまざまの施設をフルに使ってするのだそうで、サマースクールを年中やっているようなものです。話の終わりに「研究はシーワールドの質を高めるのに必要なものです。教育もそれに付随するものですが、結局は私達の哲学が求めるからとしか説明できません」と言われるので「営利目的の私企業が、こんなに立派な教育プログラムをもっているとは驚きです。感服しました。」と素直な感想を言うと、「あなたこそ5年間もボランティアを続ける熱意は立派です」と逆に言われ照れてしまいました。園内をまわるにあたって、サンドラさんとおっしゃる若い助手の1人が案内して下さいました。特に教育的と思われるものを見たいと注文すると、イルカやシャチに触れるコーナー、サメ館、海ガメ館、それから人工潮だまりで、子供達が生きたウニやヒトデや小魚を自由にさわれる施設を次々にまわって下さいました。さすがに展示は一つ一つが凝ったものばかりで、見事という他ありませんでした。シャチやアザラシのショーも見ましたが、予想外のスリルがありました。また、未公開のコウテイペンギン、アデリーペンギンの大群は繁殖データを集めるため、半年も別棟の南極と同じ条件下で飼われているのだそうです。また水族館の展示も非常に教育的でした。サメの生きた卵、化石のサメの歯などもあり、入園者がどこでも熱心に見入っていました。

（つづく）

（大阪動物園ボランティアズ会員 富樫 史朗）
*今回から米国に留学中の富樫会員による米国動物園の教育事業の内容を紹介してもらいます。ボランティアとして見た米国の動物園教育活動のレポートに御期待下さい。

動物園ニュース

§ まだ続く出産、産卵シーズン

異常気象のせいでもないでしょうが、今年は8月に入っても出産、産卵が続いています。

7月30日にはアカハシリウキウガモのヒナが1羽フ化しました。このカモは北米南部から南米に

かけて
住む、
クチバ
シの赤
いとて
もきれ
いなカ
モで、
当園で

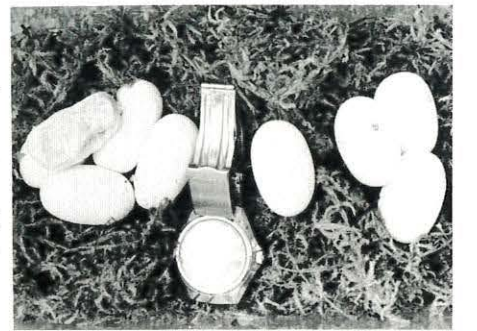


は北園
の水禽
放養舎
で5羽
が飼わ
れてい
ます。このうちの1羽が産んだ5個の卵のうち、1羽がフ化したものです。ヒナは普通のカモに比べて少しクチバシが大きめで、顔には変わった線がある、少し風変わりなヒナです。しかし、このカモの繁殖は日本で初めてで、たった1羽のこのヒナが無事に育てたいものです。

8月1日にはニホ

れました。そして、8月9日にもまた1個産卵したのですが、今度はいい場所で産んだので親にまかせることになりました。9月初旬のヒナの誕生が楽しみです。

8月
17日
には
イエ
ロー
ット
ス
ネーク
が17
個の
卵を
産み
まし
た。



当園では初めてのことで、卵は大事に水ゴケで包まれ、フ卵箱に入れられました。

§ 第6回サマースクール研究発表作品展開催

先の7月22日から31日まで延 629名の児童が参加して第6回サマースクールが開かれましたが、この際使用した学習用具やその際のスナップ写真、それに学習結果としてまとめられた発表文などまとめて8月20日、北園展示館で作品展が開かれました。サブタイトルの「僕や私の見た動物」通り、子供達が

くらしを彩るショッピング



近鉄百貨店

アベノ店 (06) 624-1111・上本町店 (06) 779-1231
東京近鉄 (0422) 21-3331

・近鉄百貨店グループ

大阪(アベノ・上本町)・東大阪・奈良・京都・岐阜
枚方・四日市・和歌山・徳山・別府・東京(吉祥寺)

今年まで... 子供... 一... わ... た... な... に... ろ... へ... に... さ... る... こ... わ... っ... と... は... 1... 回... わ... り... い... と... っ... て... の... は... は... た... ら... に... 今... つ... め... こ... の... い... た... か... っ... い... で... し... と... き... る... ん... ね... を... ぶ... ぶ... ご... く... あ... ご... の... た... け... も... う... ル... に... を... 知...

北米通信員だより

7月14日に大阪を発ってから、ここジョージア州の片隅に来るまでにサンフランシスコ動物園、シーワールド、サンディエゴ動物園を歴訪したので見聞きしたことを教育事業を中心に報告します。

まず15日に予告通り、サンフランシスコ動物園を訪問しました。郊外の住宅地の一角にある、広くて美しくカモメの飛来するZOOでした。教育事業に力を入れていると聞いていたし、大阪市と姉妹都市の関係にある市立だから取材に協力して下さるだろうと予想していたのですが、はたして歓迎をうけ、教育担当責任者のPound女史のみならず、Mottrum獣医、さらにKitchener園長ともお会いでき、さまざまな情報を得ることができました。同園は市の管轄下にあるわけですが、教育事業の多くは外郭団体の動物学協会によってまかなわれていると聞きました。その事業内容は、園内の一角に有料子供動物園をもち、常時開園している他、巡回動物園、動物学教室、サマーキャンプそれに小中学校の理科教材の制作と配布などです。子供動物園はアルバイトをしているカリフォルニア大学で生物を専攻しているジョージ君に案内してもらいました。州内の動物を中心にオボッサム、フクロウ、仔ワニ、イグアナなどを高校生

まずここでの教育事業のあらましをお教え下さいとの私の質問に、机の引出しから大阪のポスターを取り出し、裏一面に印刷されたプログラムを示して、ていねいに説明して下さいました。主なものはやはり学校教育の一環として行なわれているもので、幼稚園児から大学生、教員、それから知恵遅れの子供達のためにも全部で10種類の半日プログラムがあって、週がわりのテーマで学校の開いている期間の、全ウイークデーに開講されているとのことでした。各大学でもこれを高く評価して単位を出すようになったとのこと。「ただの科学教室ではありません—冒険があります。ただの遠足ではありません—新しい感動の世界へ皆さんをいざないます。」パンフレットにこうありますように、「イルカやアシカの訓練法の秘訣」、「イルカの言葉」から「海の生態学」、「深海へのアプローチ」というのまでさまざまで園の施設をフルに使ってするのだそうで、サマースクールを年中やっているようなものです。話の終わりに「研究はシーワールドの質を高めるのに必要なものです。教育もそれに付随するものですが、結局は私達の哲学が求めるからとしか説明できません」と言われるので「営利目的の私企業が、こんなに立派

動物園ニュース

§ まだ続く出産、産卵シーズン

異常気象のせいでもないでしょうが、今年は8月に入っても出産、産卵が続いています。

7月30日にはアカハシリウキウガモのヒナが1羽フ化しました。このカモは北米南部から南米にかけて住む、クチバシの赤いとてもきれいなカモで、当園では北園



の水禽放養舎で5羽が飼われています。このうちの1羽が産んだ5個の卵のうち、1羽がフ化したものです。ヒナは普通のカモに比べて少しクチバシが大きめで、顔には変わった線がある、少し風変りなヒナです。しかし、このカモの繁殖は日本で初めてで、たった1羽のこのヒナが無事に育って欲しいものです。

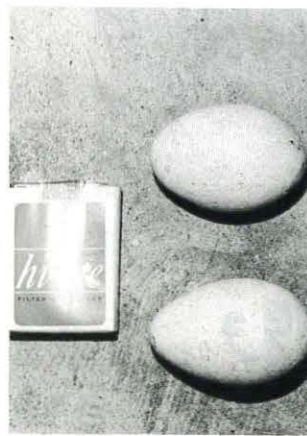


8月1日にはニホンザルの赤ん坊が生まれました。今年3頭目のこの赤ん坊はメスでした。生まれて、5日目からはもうヨチヨチ歩きはじめ、今では先に生まれたお兄ちゃんザルと仲良く遊ぶようになりました。

8月5日にはオオゾルが卵を生みまし

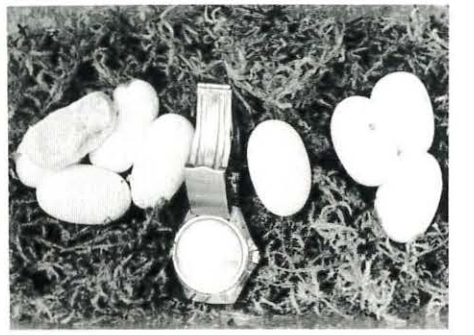
た。しかし、この両親は卵を温めないのですぐ引取りフ卵器へ入れました。

同じ8月5日、カンムリゾルも産卵しました。次いで7日にもそれぞれ1個ずつ産んだのですが、産卵した場所が扉の前で抱卵を続けられそうにないので、この2個もフ卵器へ入



れました。そして、8月9日にもまた1個産卵したのですが、今度はいい場所で産んだので親にまかせることになりました。9月初旬のヒナの誕生が楽しみです。

8月17日にはイエローラットスネークが17個の卵を産みまし



た。当園では初めてのことで、卵は大事に水ゴケで包まれ、フ卵箱に入れられました。

§ 第6回サマースクール研究発表作品展開催

先の7月22日から31日まで延 629名の児童が参加して第6回サマースクールが開かれましたが、この際使用した学習用具やその際のスナップ写真、それに学習結果としてまとめられた発表文などまとめて8月20日、北園展示館で作品展が開かれました。サブタイトルの「僕や私の見た動物」通り、子供達が



見たまま、感じたままをまとめた発表文に入園されたお客様も足を

止めて熱心に見入っていました。なおこの作品展は9月10日まで開かれています。

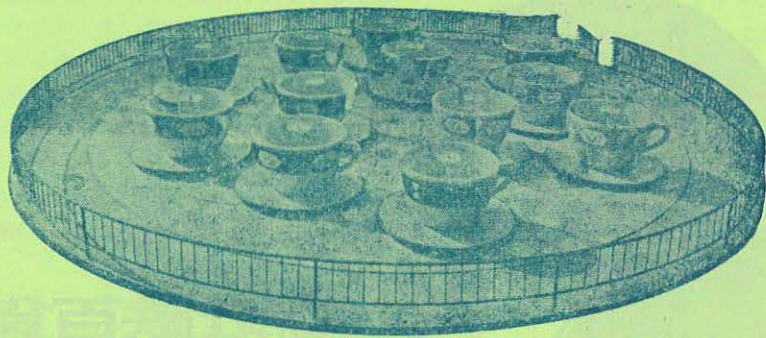
* 休園日のお知らせ *

毎月第3月曜日は休園日です。12月までの休園日は下記の通りです。

9月16日(火)、10月20日、11月17日、12月15日

年末年始は12月29日～1月1日まで休園いたします。開園時間は9時半から5時までで4時に切符売止めになります。

遊園施設委託経営・製作・販売



久竹娛樂株式会社

本社工場 大阪市西区北堀江1丁目23番21号
電話 大阪(06)541-3112・3938 番

なきごえ 昭和55年 9月15日発行(毎月1回15日発行)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

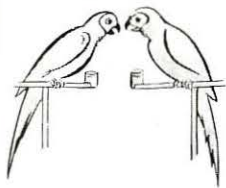
第16巻第9号(通巻181号)

〒543 大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪 (06)771-0201

振替口座 大阪 37823

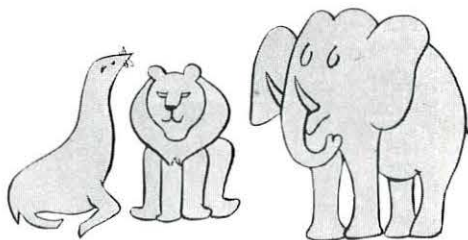
1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地
飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地

電話(078)221-8195・221-1517
電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

各130cc.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

板野 健一・中川 哲男・大野 尊信・榎原 安昭・樽本 勲・中川 道明・高橋 真三・農本 武志
石島 宏胤・野口 秀高・宮下 実・橋本 一郎・長瀬健二郎・三浦 正明・藤谷 文彦・仲谷 登